

# 高齢者ケア班

4年 南後・上西・吉田  
3年 石田・岩井・齋藤・高橋  
2年 佐藤(志)・佐藤(慶)・吉田

# 発表の流れ

1

介護について

2

介護予防について

3

取材報告

4

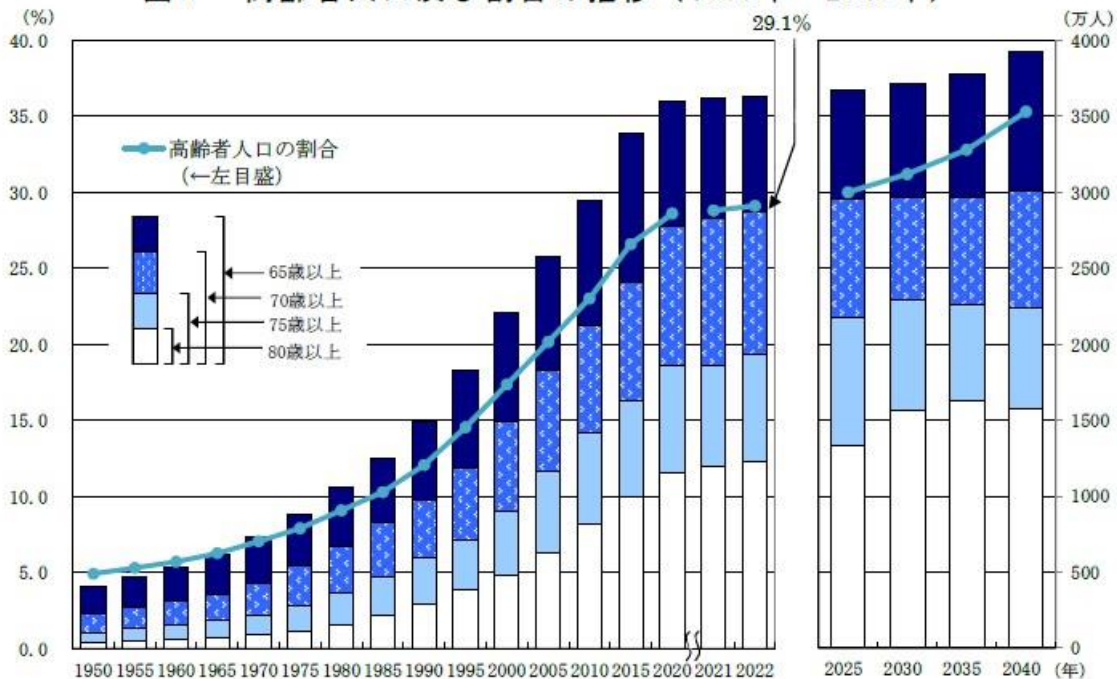
政策提言(仮)

5

まとめ

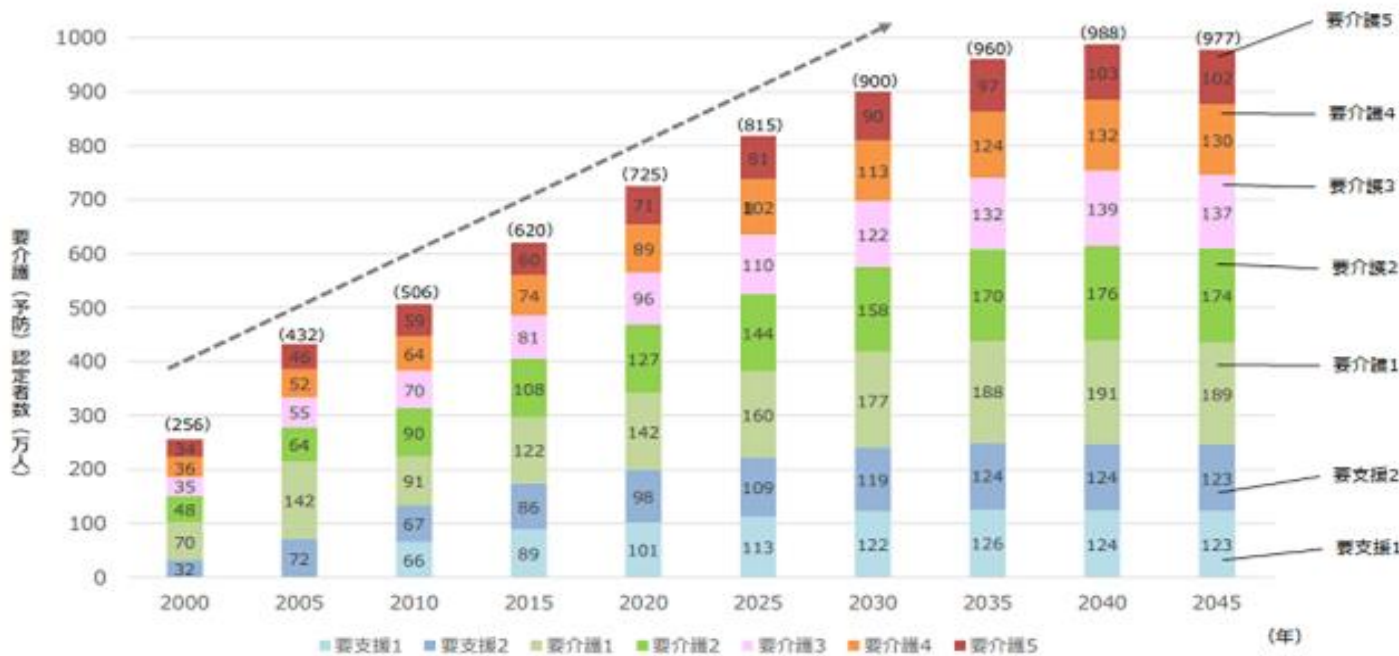
# 高齢化の現状

図1 高齢者人口及び割合の推移（1950年～2040年）



出典：総務省統計局 (<https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1321.html>)

# 要介護者数（介護を必要とする人）の推移



※2000年度、2005年度は、要支援が1段階しかなく、要支援2には現行の要支援1相当の者も含まれる。

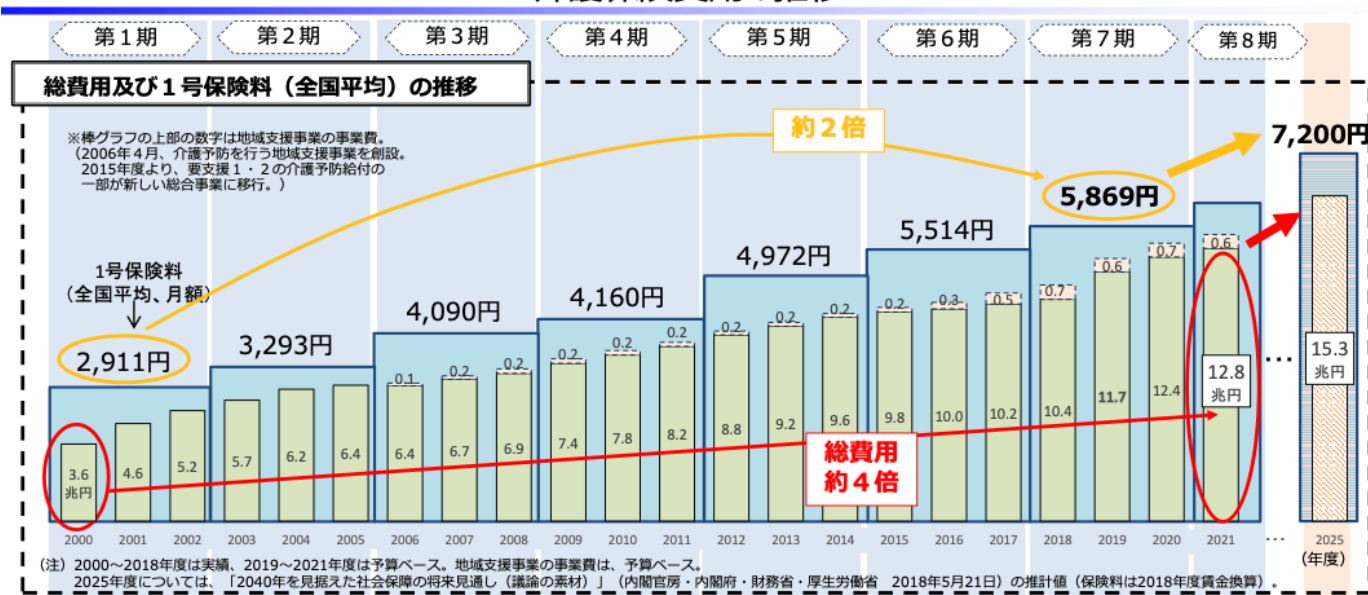
(出典) 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成29年推計）」、総務省「人口推計（平成28年）」、厚生労働省「平成27年度介護給付費実態調査」統計表第3表 平成27年11月審査分より経済産業省作成

要介護(要支援)認定者数は2035年まで大きく増加していき、2040年にピーク(988万人)を迎えると推定される。

出典：公益財団法人 長寿科学振興財団 (Tyojyu.or.jp)

# 介護保険の財政圧迫

## 介護保険費用の推移



# 現在の介護保険制度における区分

区分	状態
要支援 1	日常生活の基本動作はほぼ自分で行える。 起き上がり、立ち上がりに不安定さがある。
要支援 2	要介護には至らないが、排泄や入浴に部分的介助を要するなど、日常生活において支援が必要。機能維持、改善の可能性がある。
要介護 1	歩行が不安定であり、排泄や入浴に部分的介助を要する。 認知症などにより認知機能の低下が見られる。
要介護 2	自力での歩行が困難な状態。排泄や入浴で部分的または全部の介助が必要となり、理解力の低下も見られる。
要介護 3	自力での歩行、立ち上がりができない状態であり、排泄や入浴、衣服の着脱など、日常生活において全面的介助を要する。
要介護 4	日常生活能力の低下が見られ、介護なしで日常生活を営むことが困難な状態。重度の認知症がある。
要介護 5	介護なしで生活することがほぼ不可能であり、日常生活全般に全面的介助を要する状態。意思の伝達が困難。

# 介護保険制度のサービス

## 要介護 1～5

### 介護給付

- ▶施設サービス
- ▶居宅サービス
- ▶地域密着型サービス

## 要支援 1・2

### 予防給付

- ▶介護予防サービス
- ▶地域密着型介護  
予防サービス

### 総合事業

- ▶介護予防・生活  
支援サービス事業
- ▶一般介護予防事業

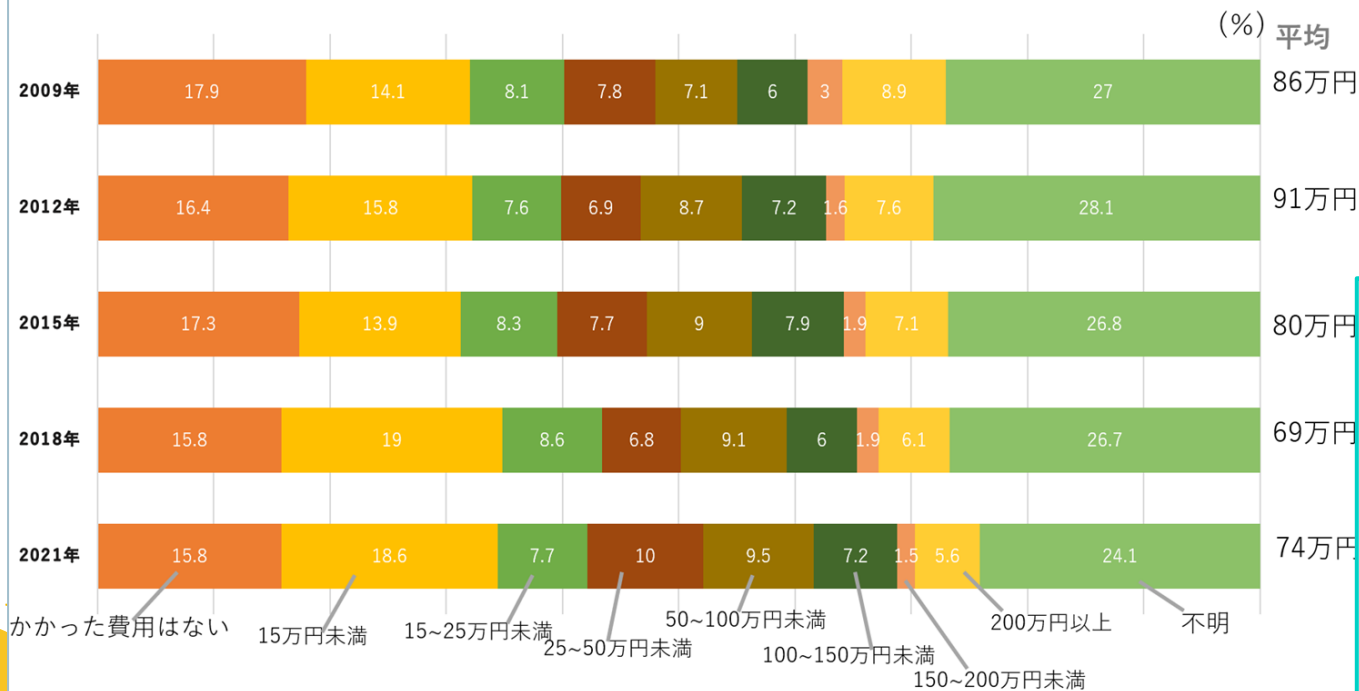
## 介護予防が必要な人

### 総合事業

- ▶介護予防・生活  
支援サービス事業
- ▶一般介護予防事業

# 介護費用

介護費用(一時的な費用の合計)



年度によって多少の差異はあるが、介護費用が家庭に多額の負担を与えている。

この金額は概ね要介護度が上がるほど高くなっており、「要介護5」において最も高くなっている。



# 介護者の負担

## 【精神的負担】

- ・ 自らの仕事への支障  
→ 場合によっては離職しなければならない  
→ 孤立感、閉塞感
- ・ 要介護者との意思疎通の難しさ
- ・ 自分だけの時間が無い

→ 精神的ストレス

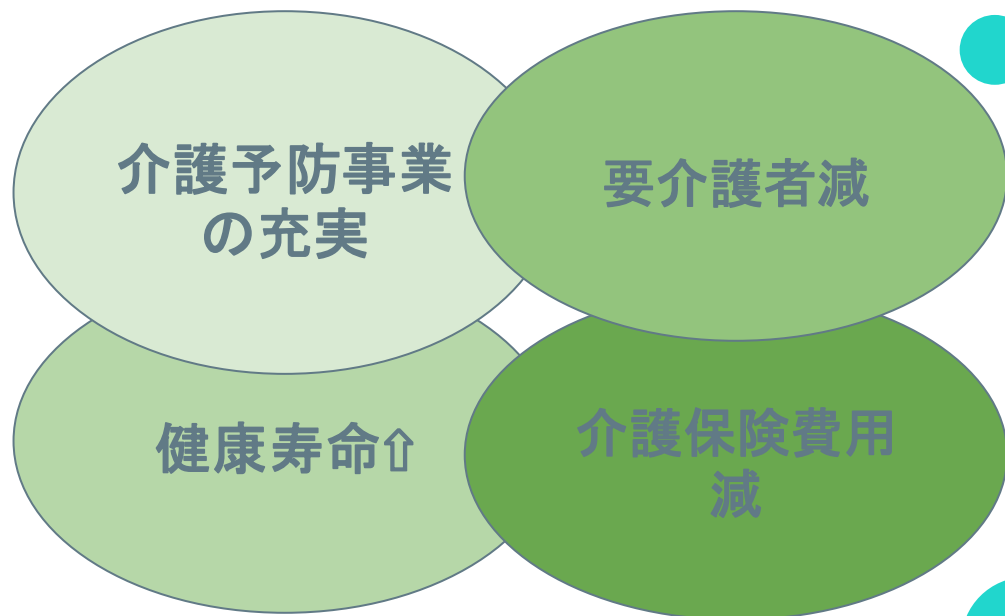
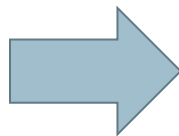


## 【肉体的負担】

- ・ 夜中のトイレやオムツ交換への対応  
→ 睡眠不足
- ・ お風呂やトイレなどの身体的介助
- ・ 床ずれを防ぐための体位変換  
→ 足腰への負担

## 現状まとめ

現状課題	
1	高齢化
2	介護費用の増大による財政圧迫
3	個人の負担





いずれにも該当して  
いない高齢者



要支援者



要介護者

介護予防による持続可能なシステムへ

# 介護予防制度

## 総合事業

### 一般介護予防事業

対象：65歳以上の人

サービス：体力作り教室  
介護予防教室  
高齢者サロン  
サークル活動  
講演会 etc

### 介護予防 生活支援事業

対象：要支援1・2の人  
基本チェックリスト該当者

サービス：訪問型サービス  
通所型サービス  
その他  
生活支援サービス  
介護予防  
ケアマネジメント

# 介護予防とは



# 1次予防とは



## 原因

病気にならないように気をつける  
(生活習慣改善、運動)

# 2次予防とは



# 3次予防とは

0次予防

**有症状疾患**  
病気になってから悪化を防ぐ、再発の予防  
(治療、リハビリ)

3次予防



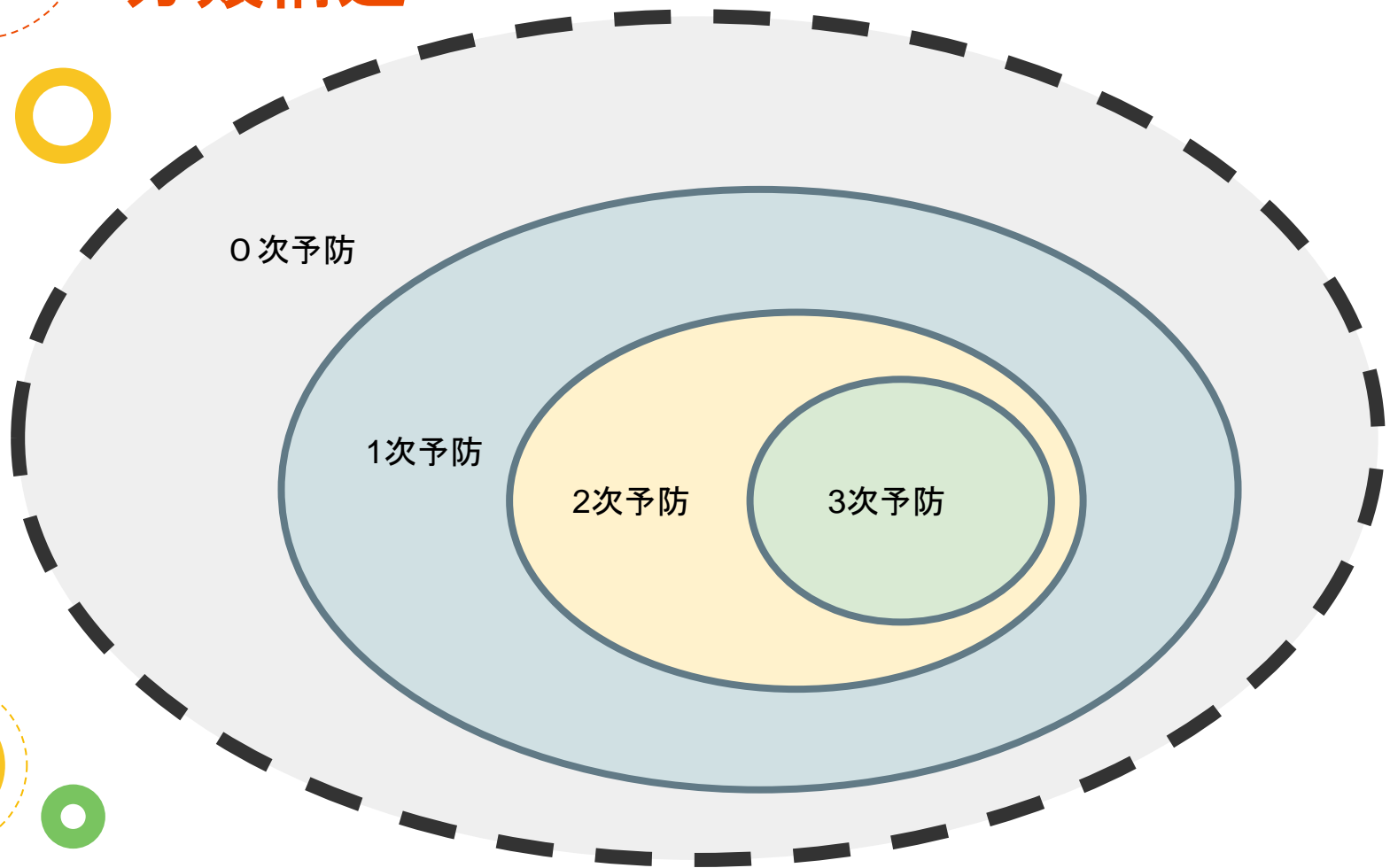
# 0次予防とは



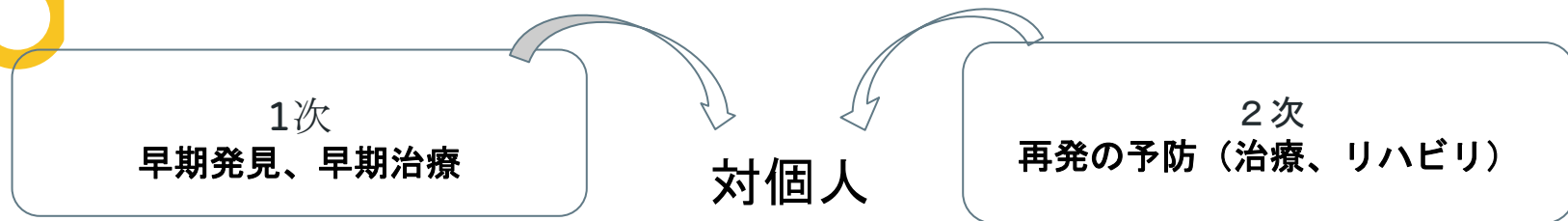
# 介護予防の分類



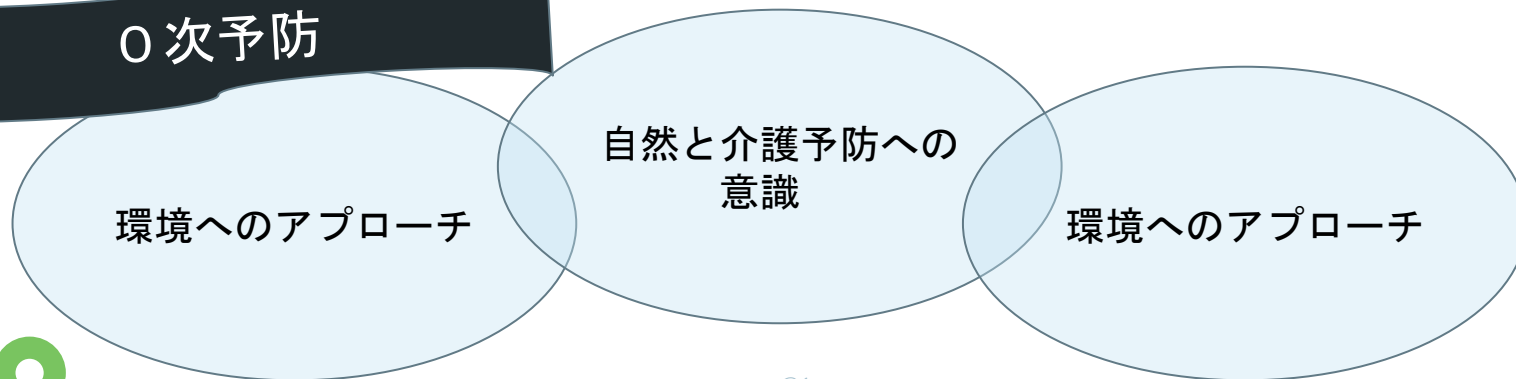
# 分類構造



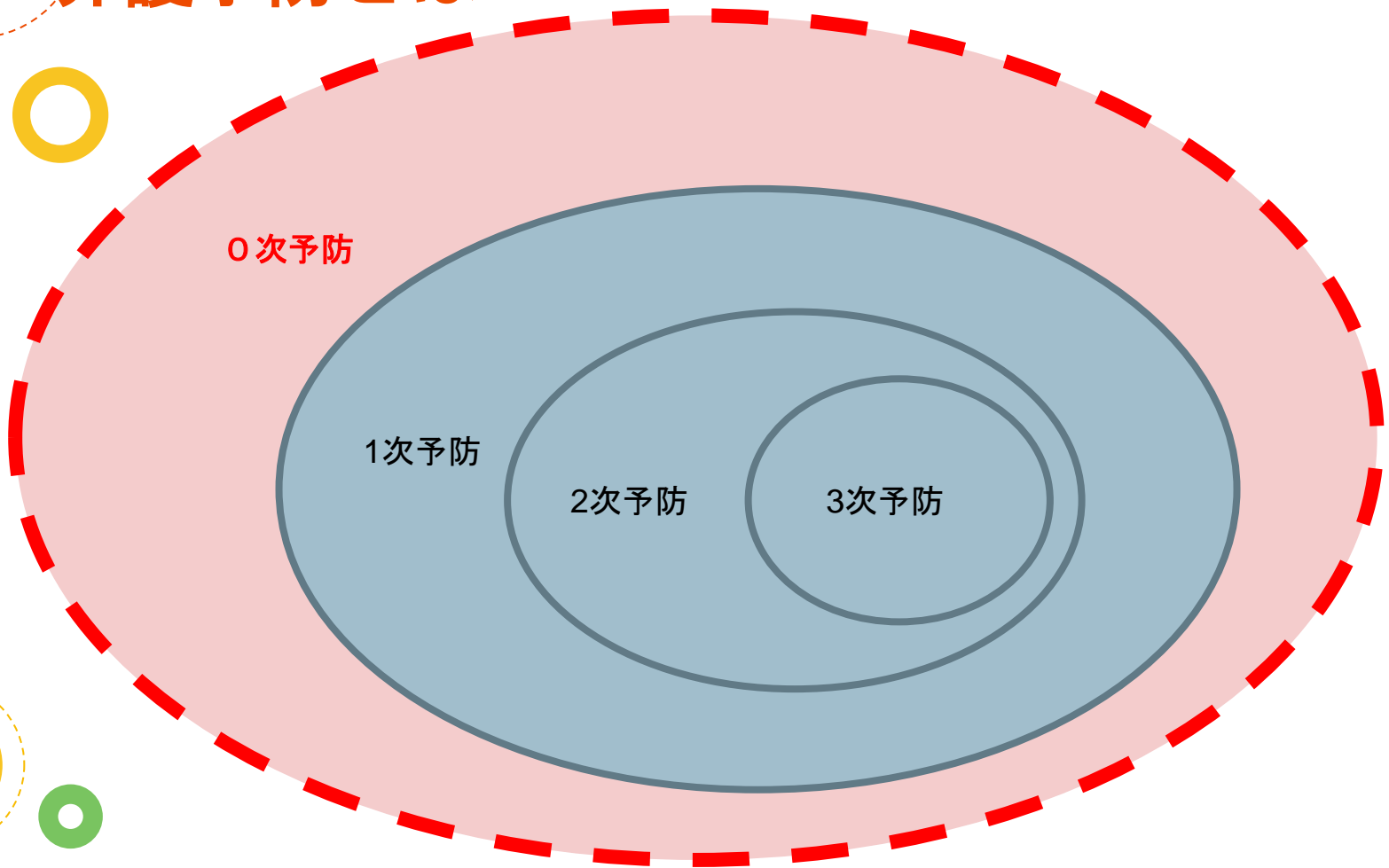
# 構造から...



## 0次予防



# 介護予防とは



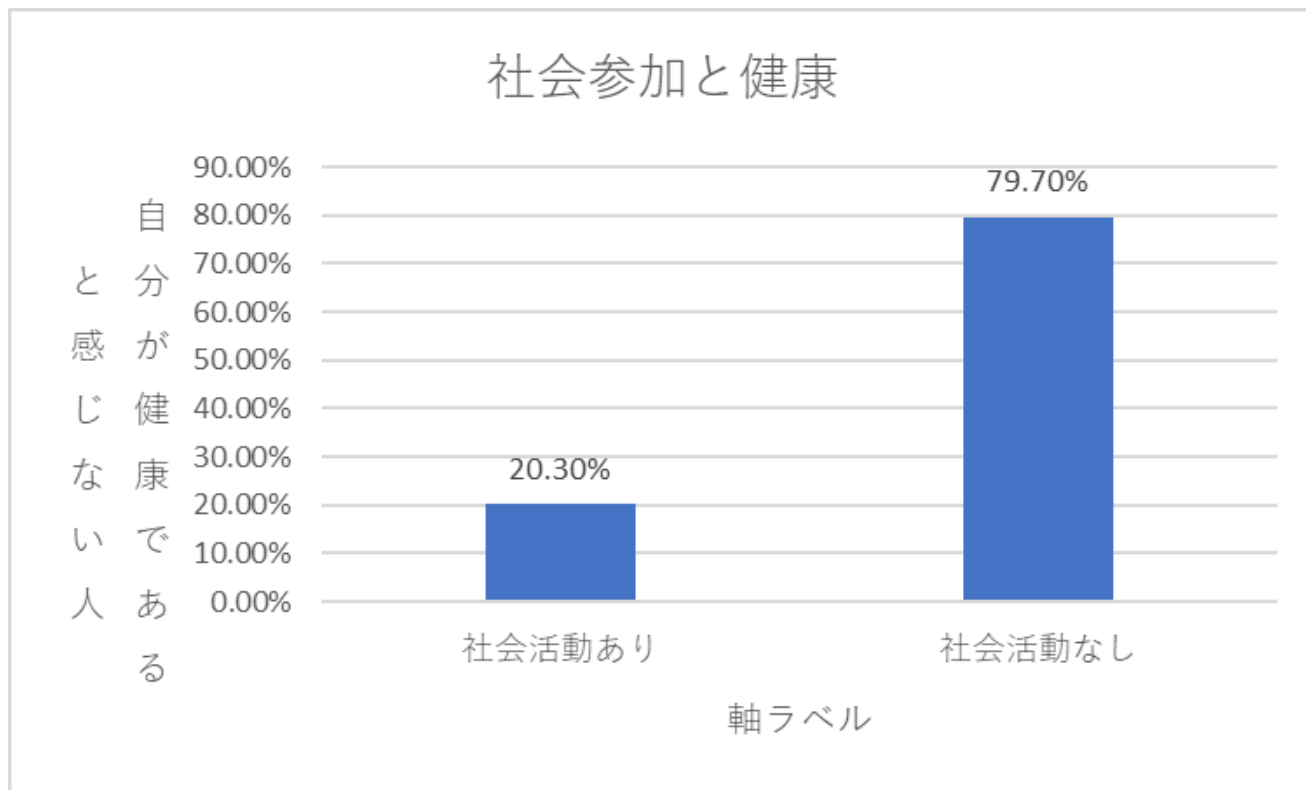
0次予防

1次予防

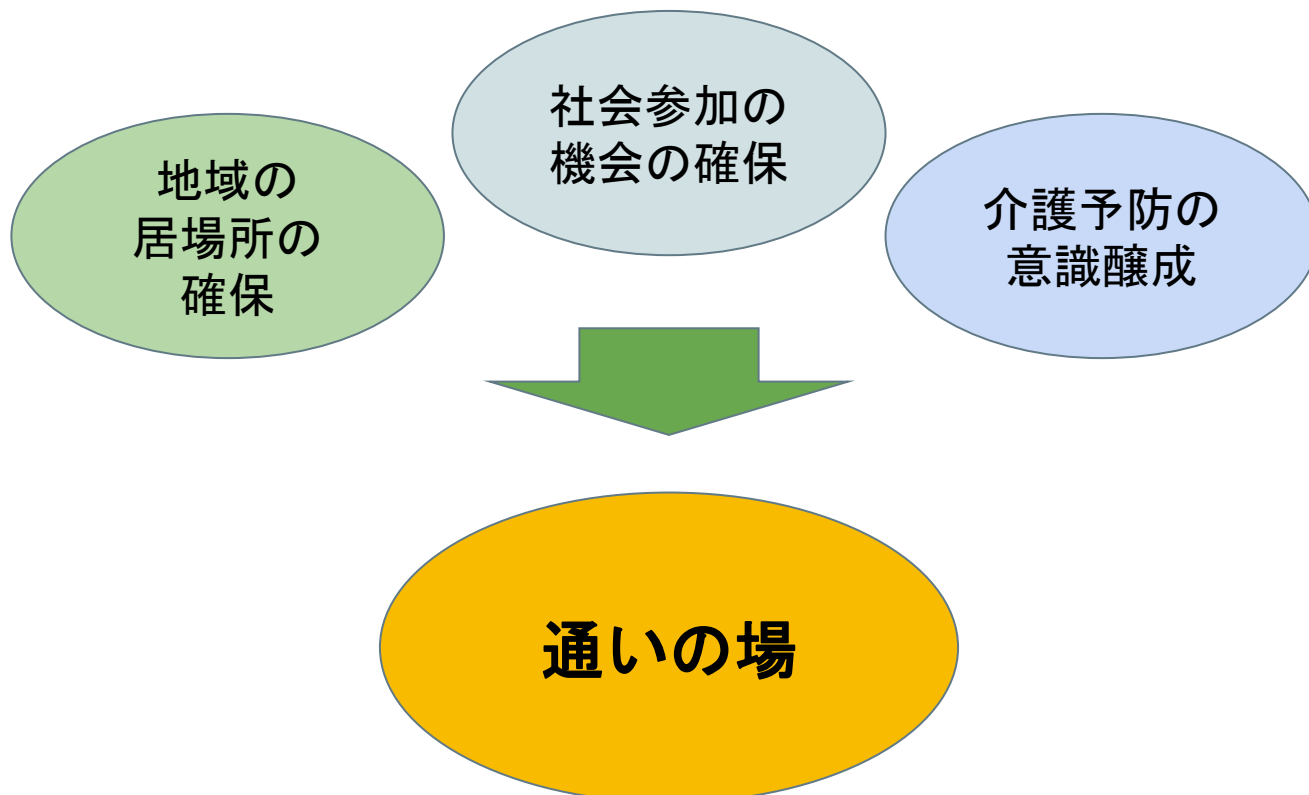
2次予防

3次予防

# 社会参加と健康の関係



# 0次予防における環境づくり



# 通いの場の意義

通いの場とは...

高齢者を中心とした地域住民が共に多様な活動を行う  
コミュニティ

居場所としての価値

地域住民同士の交流



地域に居場所や  
つながりが作れる

社会的健康の実現

高齢者の社会参加の  
機会確保



役割を持つことで  
やりがいや  
生きがいを得られる

介護リスクの低減

多様な活動による  
介護予防や  
フレイル予防

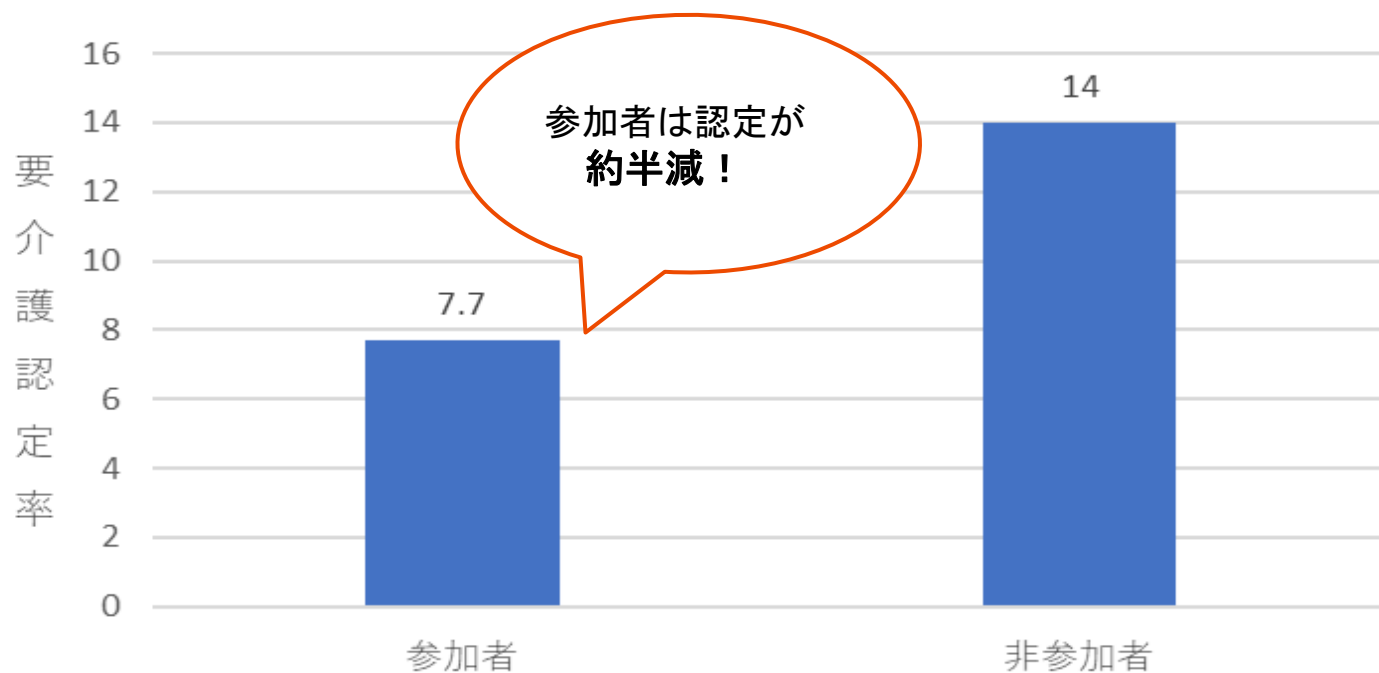


健康意識を高め、  
予防への行動を誘導  
できる



# 通いの場の効果

通いの場への参加と要介護認定率



# 通いの場の実態・全国的な課題

## 現状

- ・ 数：全国約12万箇所。95%以上の自治体にあり。年々増加。
- ・ 参加率：高齢者の6.7%
- ・ 参加者の状態の把握：80%の通いの場ができていない。

(厚生労働省令和元年度データ)

## 課題

- ・ 参加率が低い
- ・ 参加者の状態把握、ニーズ把握ができていない。

⇒数はあるのに、十分に活かしきれていない



## 個別事例紹介・取材報告

# 取材先

| 大分県竹田市

| 埼玉県和光市

| 合同会社Next Rise ソーシャルインパクト推進機構

# ①大分県・竹田市

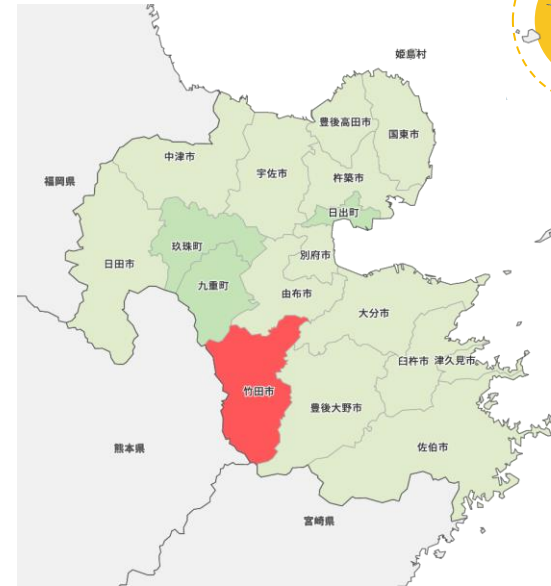
# 竹田市について

## 竹田市の概要

- 人口 : 20,330人
- 高齢化率 : 44.5% (令和2年)
- 80歳以上の割合 (12.3%) が全国の市で最も高い

## 竹田市の特徴

- 住民主体による通いの場が展開されている
- 通いの場が日本一多い
- 介護保険外のサービスによる自立支援事業の構築



# 暮らしのサポートセンターについて



## 内容

### 寄り合い場

自由に過ごす憩いの場「地域のお茶の間」

### くらサポ広場

介護予防教室や健康づくり教室、  
レクリエーションなど

### 「ちょっと困り」のお手伝い

買い物支援、家事援助、話し相手・見守り、軽農作業  
など



地域住民  
による運営

暮らしのサポート協議会  
の実施

くらサポ同士の連携・情報共有

# 取材の気づき

① - 1

取材先：地域包括支援センター職員、保健師2名

- 01 | 通いの場ごとの実態把握の必要性
- 02 | 住民主体が内容の自由度の高さを実現している  
その上での、住民主体のための環境整備
- 03 | 持続的な体制づくりが不十分  
(今後どうやって住民主体の維持をしていくべきか)
- 04 | 担当者同士の連携の大切さ



# 取材の気づき

①-2

取材先：暮らしのサポートセンター「りんどう」活動会員の方

01 | 運営住民は自信が社会的役割を認識することが運営の原動力となっている

02 | 通いの場の会員同士、通いの場同士の連携の大切さ

03 | 財政面での限界

## ②埼玉県・和光市

# 和光市について

## 和光市の概要

- ・ 人口 : 8.416万人
- ・ 高齢化率 : 17.9% (令和3年)

## 和光市の特徴

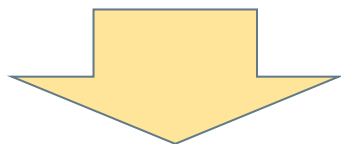
- ・ 要介護認定率は11.2% (令和2年)
- ・ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
- ・ 多職種によるコミュニティケア会議



# 取材の気づき

- 01 | 継続的な実態把握の重要性
- 02 | 介護予防に焦点を当てた双方向の会議の不足
- 03 | 介護予防事業を民間事業者にも委託
- 04 | 通いの場へのアクセスに対する課題感

## 自治体のみでの運営での限界



住民主体での運営  
民間との連携

住民主体  
の運営



民間の  
ノウハウ  
資金



より多様  
かつ  
安定的な  
サービス



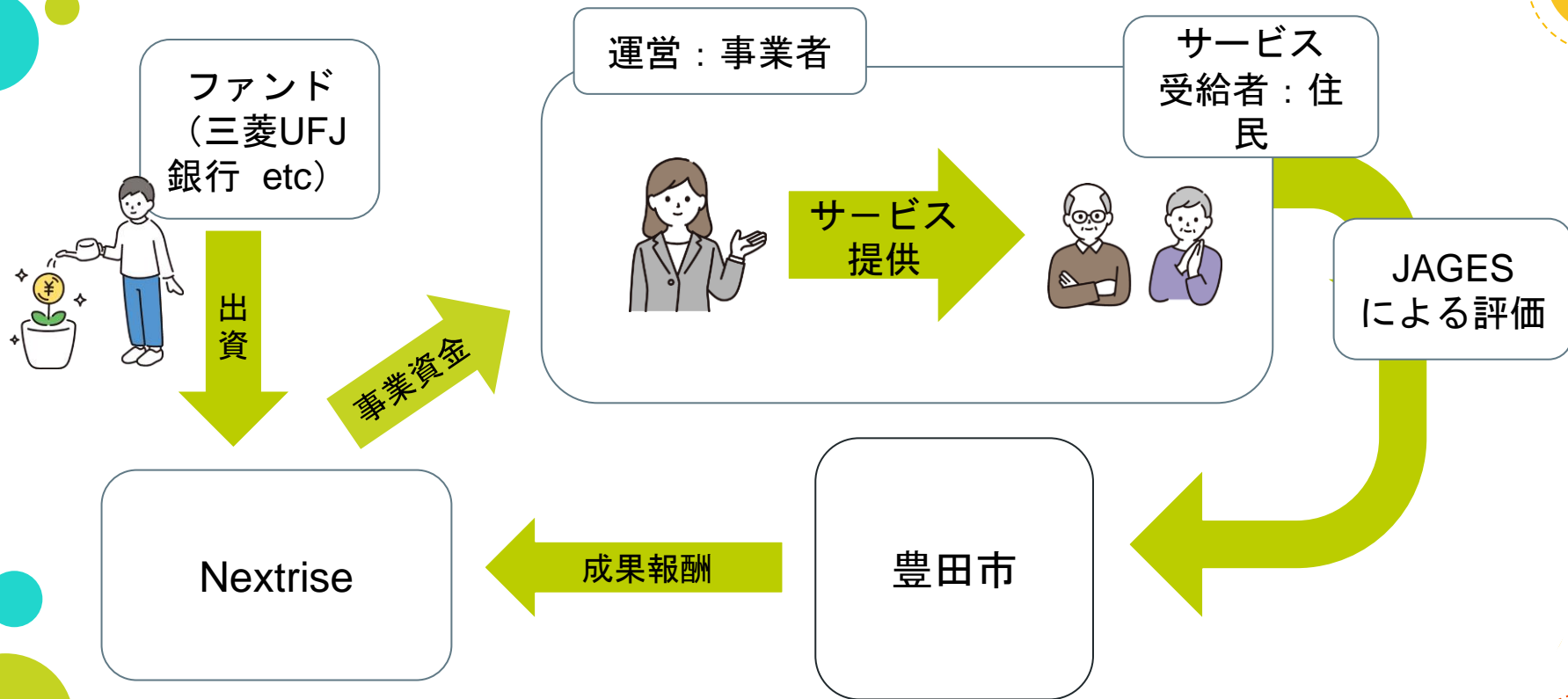
**③合同会社 Nextrise**  
**ソーシャルインパクト推進機構**

## Nextriseの行っていること

### 「ずっと元気！プロジェクト」

- ・ 豊田市との共同プロジェクト
- ・ SIB投資を活用した官民連携による  
社会参加プログラムの提供
- ・ 事業期間：令和3年7月～令和8年6月
- ・ 年間5000人参加と介護費10億円の削減が目標

# Nextriseの取り組み





## 取材の気づき

- 01 | サービスの内容での民間事業の質、柔軟性、多様性
- 02 | 地域に浸透した体制づくりが難しい
- 03 | 民間事業者間（通いの場同士）のつながりをつくる必要性
- 04 | 自治体と民間間の密な繋がり的重要性

# 気づきのまとめ

1.住民を参加に引き込むための取り組みの必要性  
～住民の参加率の向上～

2.実態の分析、把握の必要性  
～実態の見える化を実践へ～

3.内容の裾野を広げる上での民間の多様性、柔軟性  
～民間の入りやすい環境実現～

4.住民主体の通いの場であることの大切さ  
～住民の声を反映できるような環境づくり～

5.当事者間のコミュニケーション  
～話し合いの場の設置～

# 政策提言

1. 実態調査

2. 民間との提携

3. 通いの場会議

# 1. 実態調査

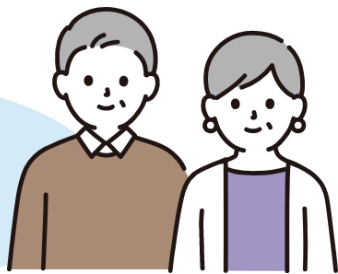
1.住民を参加に引き込むための取り組みの必要性  
～住民の参加率の向上～

2.実態の分析、把握の必要性  
～実態の見える化を実践へ～

## 目的

- ①実態を運営当事者への共有
- ②通いの場に囲い込めていない層への意識付け  
→適切通いの場への接続

＜実施対象＞  
65歳以上の高齢者



＜内容＞  
簡単な健康チェック  
通いの場の利用状況



＜流れ＞

- 1 | アンケート（チェックリスト形式）を送付
- 2 | 地域住民が回答を記入
- 3 | アンケートの回収（ワクチン会場・健康診断会場など / 返送による回収）

※未回答者は個別訪問



# イメージ図

氏名： 早稲田太郎	性別 男	年齢 80	居住地： 東京都新宿区西新宿～
1	現在の健康状態	<input type="checkbox"/> 良い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 悪い	
2	チェック1	<input type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> できない	
3	チェック2	<input type="checkbox"/> できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> できない	
4	現在の通いの場について	<input type="checkbox"/> 4つ以上 <input type="checkbox"/> 3つ <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 0	
5	通いの場の名称		
6	通いの場への認識		

健康状況  
について

通いの場の利用  
状況について

## 実態検査から

自治体

実態把握の情報蓄積と他への共有

個人

各自の健康状態の再認識





自治体管理・認識

健康状態

利用状況

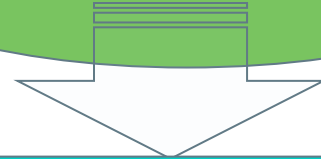
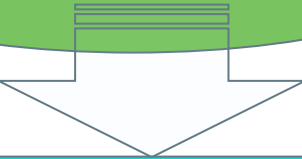
住民の  
ニーズ

懸念点



通いの場の利用者の情報

通いの場未利用者の情報



保健師への共有



通いの場への情報共有  
実施施策への反映活用

地域包括支援センター  
への共有

通いの場の認識  
適切な通いの場の紹介



## 2.民間との提携

3.内容の裾野を広げる上での民間の多様性、柔軟性  
～民間の入りやすい環境実現～

目的：『住民主体』をより柔軟に、質高く、広がりを持つ形で実現する

住民主体をより強く実現するために...

住民が求めるサービスを実現できる環境

充実したコンテンツ

柔軟かつ多様性のある内容提供の、実現可能性が高い民間との連携体制が効果的

目的：『住民主体』をより柔軟に、質高く、広がりを持つ形で実現する

住民主体をより強く実現するために...

もっとお金が  
あればなあ...

住民が求めるサ  
ービスを  
実現できる環境

充実した  
コンテンツ

内容面の質を上げ  
たいなあ...

柔軟かつ多様性のある内容提供の、実現可能性が高い民間との連携体制が効果的

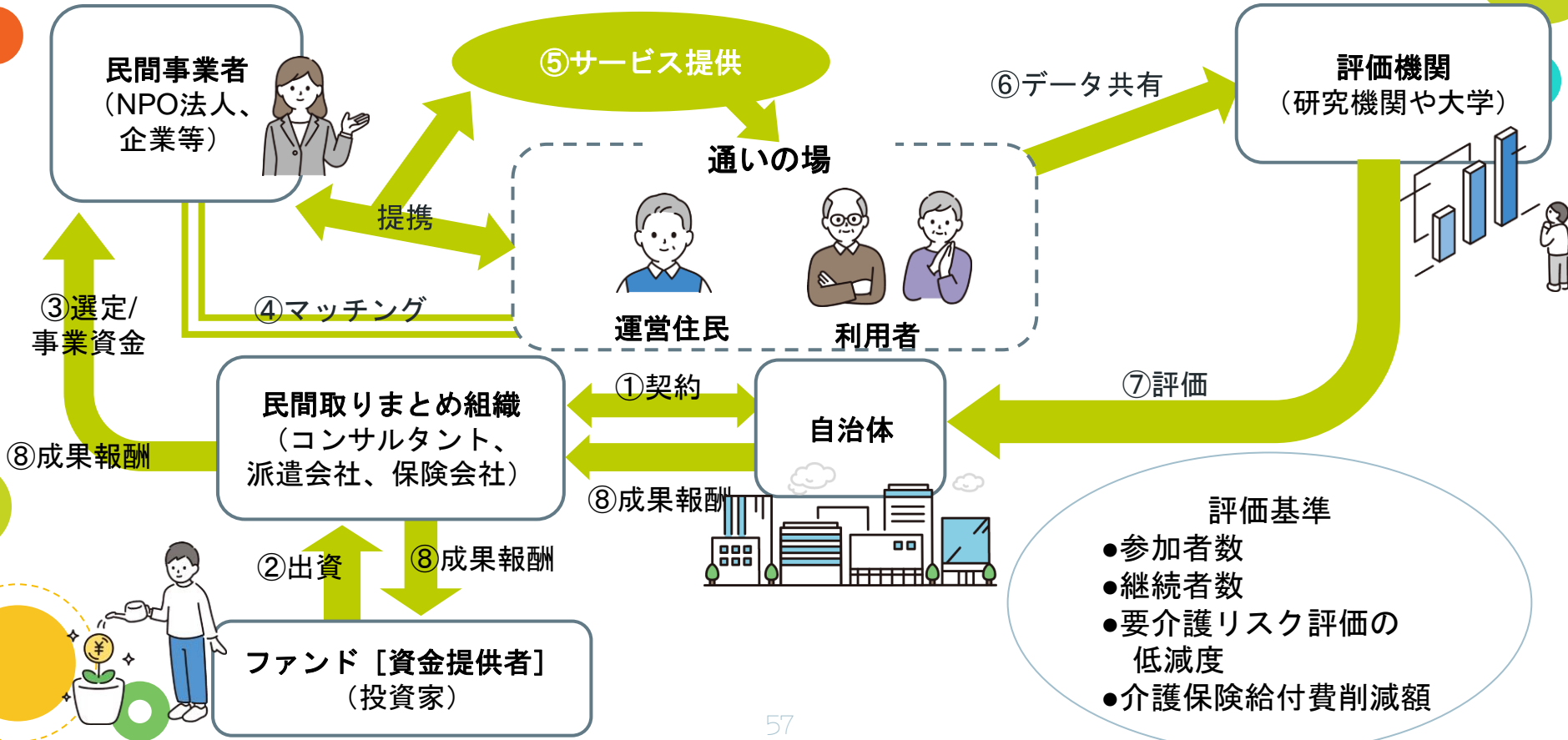
目的：『住民主体』をより柔軟に、質高く、広がりを持つ形で実現する

住民主体をより強く実現するために...

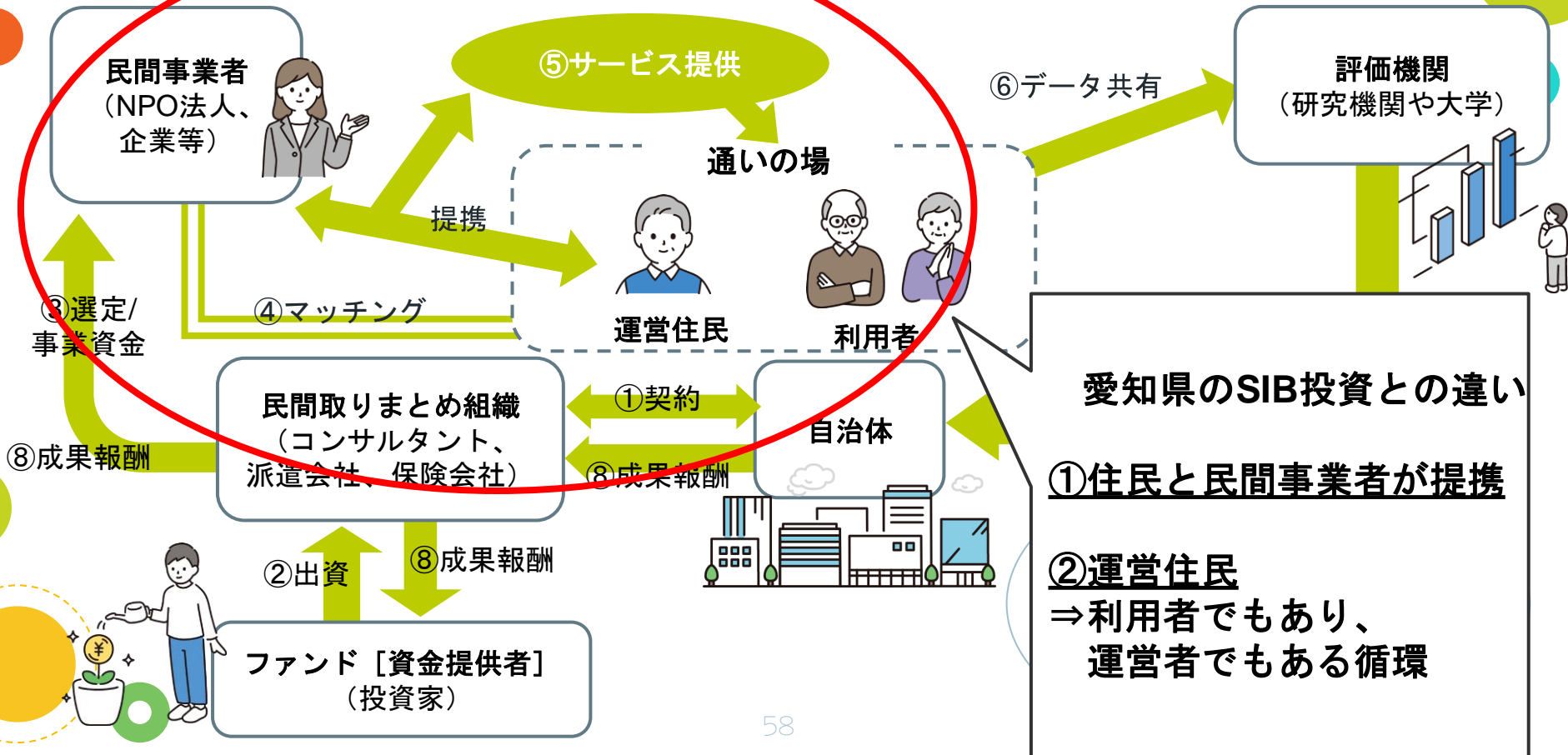
## SIB投資

柔軟かつ多様性のある内容提供の、実現可能性の高い民間との連携体制が効果的

# SIB投資の概要



# SIB投資の概要



# 民間事業者が提供するコンテンツ

コミュニケーション・  
就労

趣味・エンタメ

スポーツ・健康

送迎車

活動場所



# 情報共有



民間事業者



民間事業者



民間事業者

各通いの場の情報共有  
(参加者数、継続者数等)

民間取りまとめ組織

データ共有

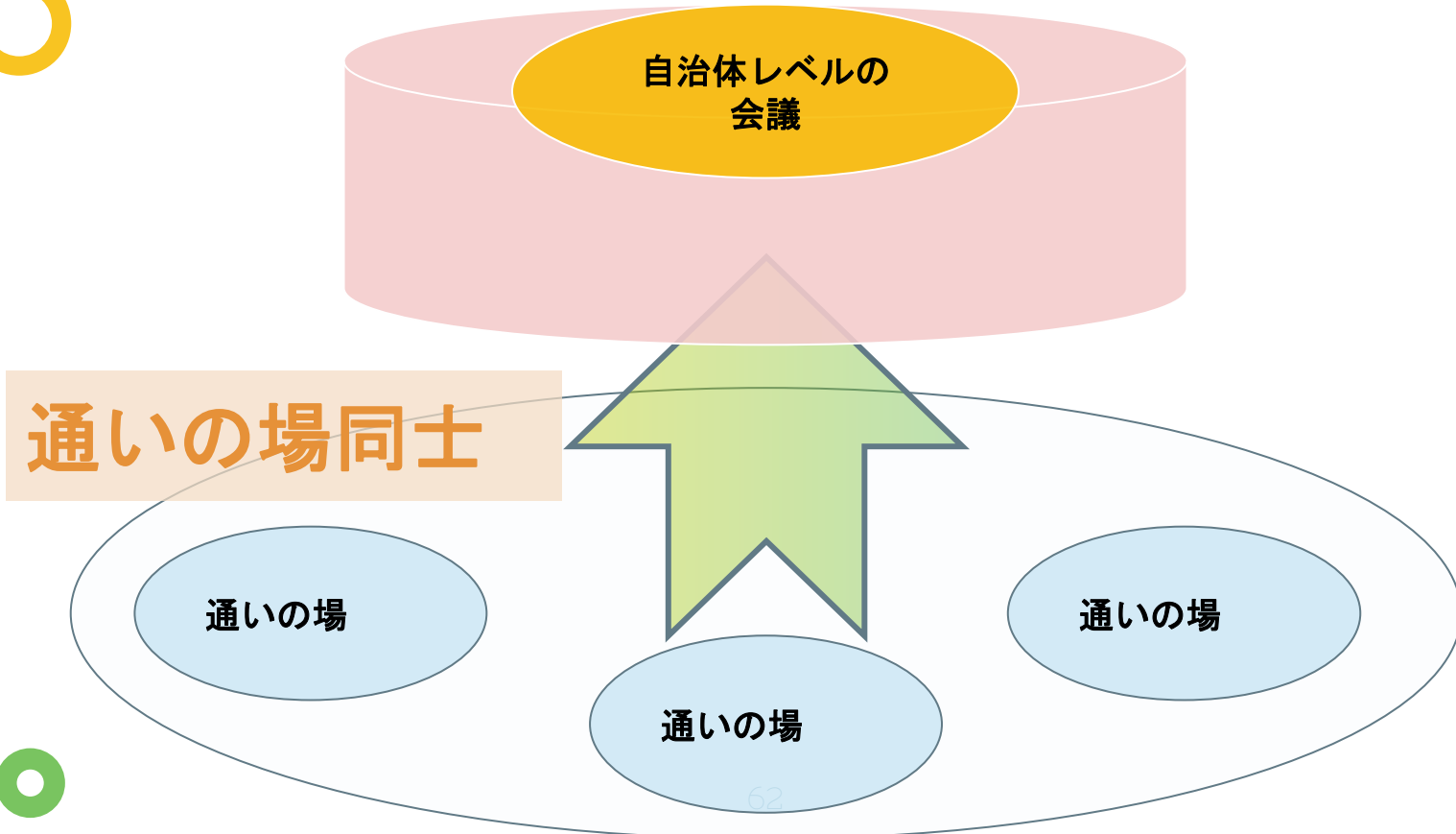
自治体

### 3. 通いの場会議

4.住民主体の通いの場  
～住民の声を反映できるような環境づくり～

5.通いの場当事者間のコミュニケーション  
～当事者との話し合いの場の設置～

目的：当事者間の情報共有の徹底



## 目的：当事者間の情報共有の徹底

通いの場ごと

### <参加者>

住民・民間事業者・保健師

### <目的>

通いの場内の連携強化

現状や改善点に共通認識を持つこと

### <内容>

- ◎ 業務連絡、内容面、参加者の現状把握
- ◎ 状況の整理
- ◎ 特殊ケース、重大課題の認識
- ◎ 会員同士の繋がり作り

### <頻度（目安）>

週に1回

目的：当事者間の情報共有の徹底

## 通いの場同士

通いの場

### <参加者>

住民、民間事業者、保健師

### <範囲>

地区

### <目的>

通いの場間の相互連携しつつ、刺激を与えあう

### <内容>

- ◎ 通いの場同士の繋がりづくり
- ◎ 通いの場の個々の事例共有・検討
- ◎ 通いの場間の意思統一と相互連携を図りながら、共通の課題や成果・知識を共有
- ◎ つながりをつくる

### <頻度>

月2

通いの場

通いの場

目的：当事者間の情報共有の徹底

## 自治体レベルの共有会議

### <参加者>

自治体、保健師、民間取りまとめ組織

### <範囲>

市（自治体の範囲によっては、もっと広く、細かく）

### <目的>

地域全体で課題感の共有、住民の意向を反映させること

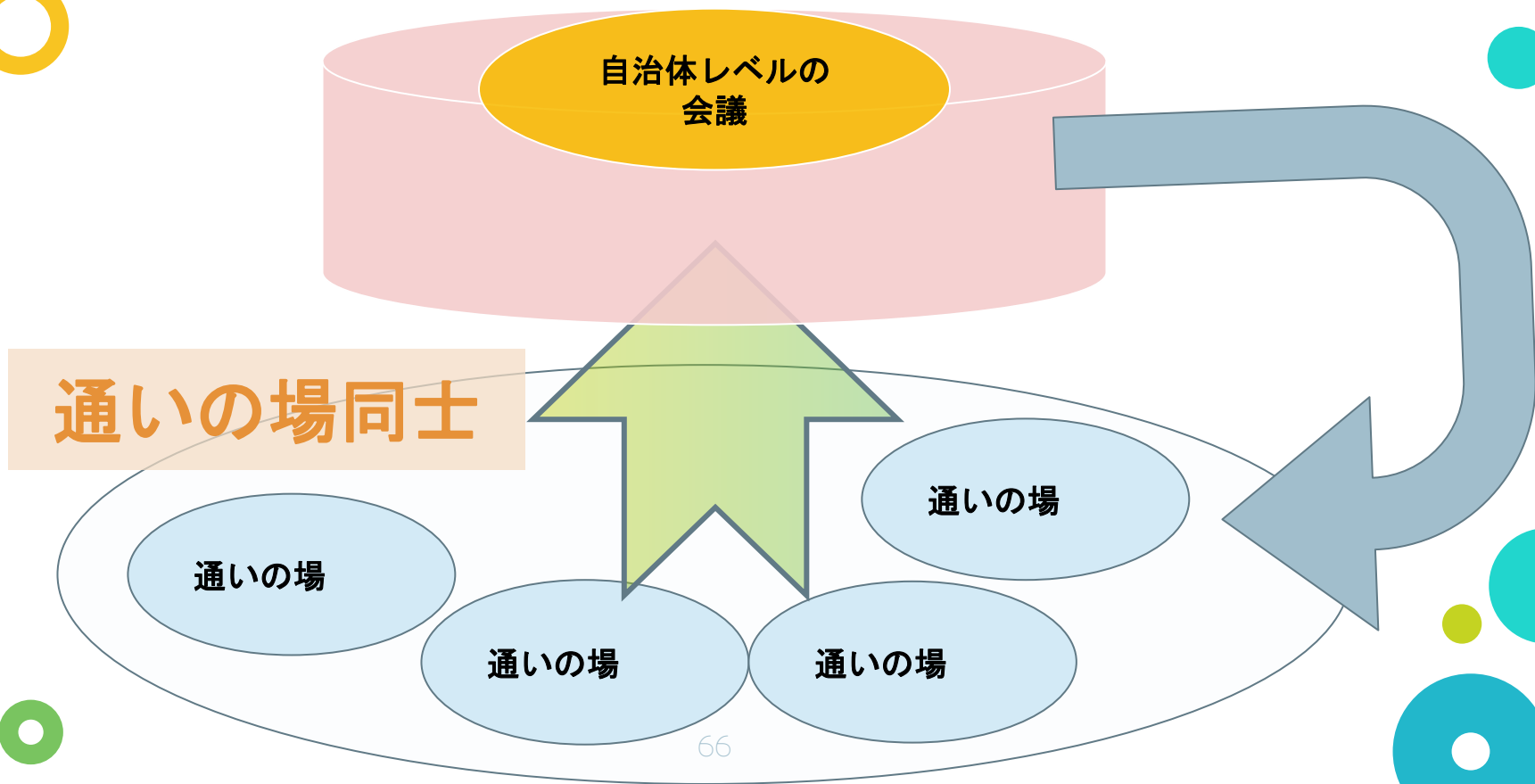
### <内容>

- ◎ 自治体、地域レベルの課題把握
- ◎ 住民の意見から聞き取った情報・課題の共有

### <頻度>

月1

目的：当事者間の情報共有の徹底



# 政策提言のまとめ

住民主体の通いの場が  
多様性を持った  
より多くの人々に愛され  
持続可能なものに

実態調査

民間との連携

通いの場会議



# 今後解決すべき課題



これからの地域、個々の生活、その他分野で  
「やりたい」を「できる」に  
共に変えていく

## 今後解決すべき課題

他自治体まで連携を拡大

高齢者の担い手不足

若年層の地域コミュニティへの興味促進

## お世話になった方々

- 竹田市社会福祉協議会地域包括支援センター職員 本田様
- 竹田市市役所保健師 中里様
- 竹田市社会福祉協議会地域包括支援センター保健師 甲斐様
- 暮らしのサポートセンター「りんどう」 会長様 副会長様 事務局長様
- 和光市役所 長寿あんしん課 柏様
- **NextRise** ソーシャルインパクト推進機構 臼井様

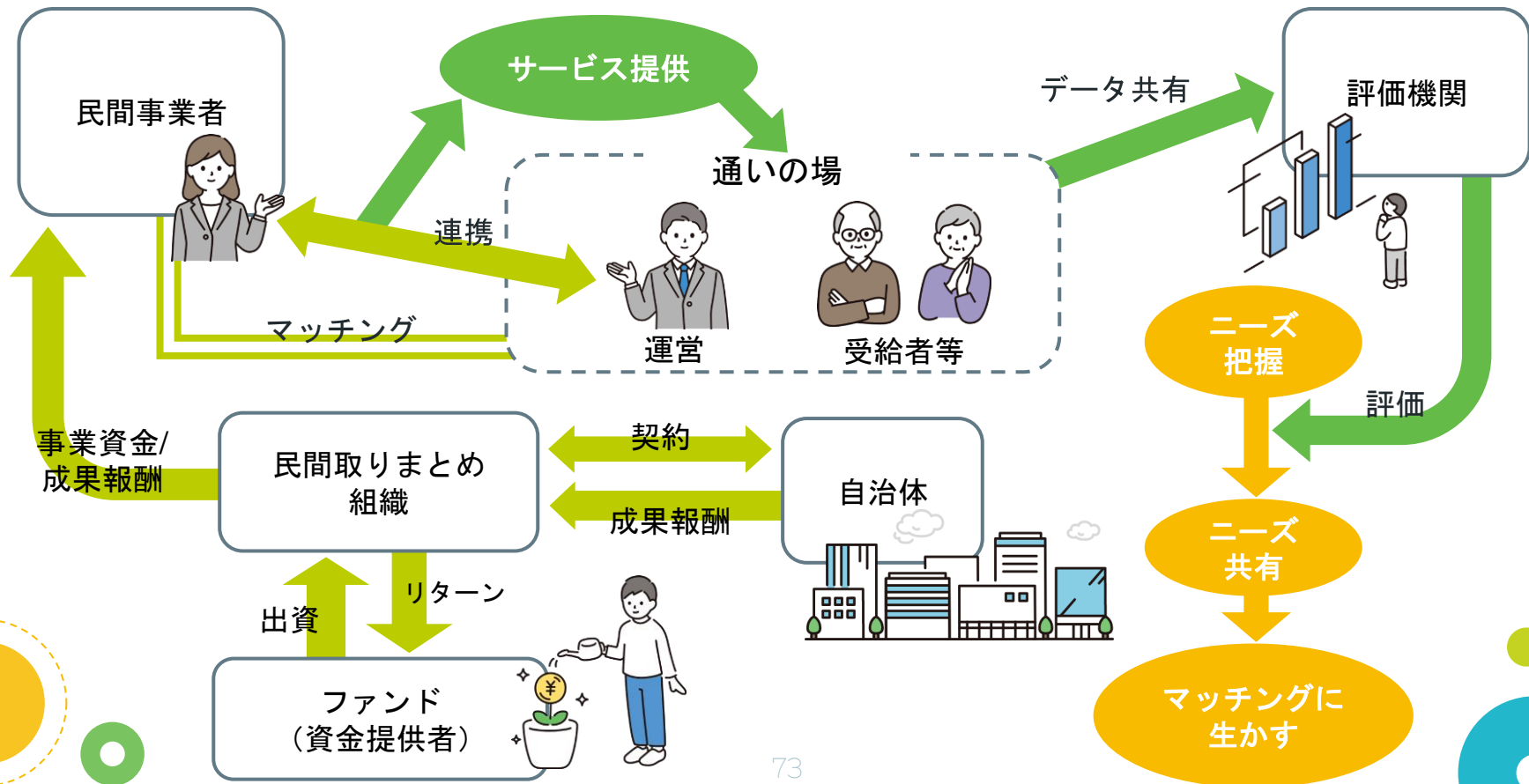
# 参考文献

- ・総務省統計局「高齢者の人口」 (<https://www.stat.go.jp/data/topics/topi1321.html>)
- ・公益財団法人 長寿科学振興財団「高齢者を支える介護人材不足について」 ([Tyojyu.or.jp](http://Tyojyu.or.jp))
- ・財務省「令和4年度予算の編成等に関する建議 参考資料」  
[https://www.mof.go.jp/about\\_mof/councils/fiscal\\_system\\_council/sub-of\\_fiscal\\_system/proceedings/material/zaiseia20210415/02.pdf](https://www.mof.go.jp/about_mof/councils/fiscal_system_council/sub-of_fiscal_system/proceedings/material/zaiseia20210415/02.pdf)
- ・厚生労働省「要介護認定の仕組みと手順」 ([mhlw.go.jp](http://mhlw.go.jp))
- ・介護ポストセブン「要介護認定とは？申請方法は？ | 介護保険サービスを利用するまでの流れ【介護の基礎知識】公的制度<4>」 ([news-postseven.com](http://news-postseven.com))
- ・安心介護「要介護・要支援とは？要介護1～5、要支援1・2の違い」 ([ansinkaigo.jp](http://ansinkaigo.jp))
- ・厚生労働省「介護予防・日常生活支援総合事業のサービス利用の流れ」 ([https://www.kaigokensaku.jp/commentary/flow\\_synthesis.html](https://www.kaigokensaku.jp/commentary/flow_synthesis.html))
- ・生活保険文化センター「生命保険に関する全国実態調査」 ([2021honshi\\_all.pdf](http://2021honshi_all.pdf)) ([jili.or.jp](http://jili.or.jp))
- ・ケアジョブ「介護の負担を知る！～軽減する方法は？～」 ([mjc-carejob.com](http://mjc-carejob.com))
- ・LIFULL介護「【はじめての方へ】介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）とは」 ([https://kaigo.homes.co.jp/manual/homecare/zaitaku\\_service/sogo/](https://kaigo.homes.co.jp/manual/homecare/zaitaku_service/sogo/))
- ・内閣府「基調講演『高齢社会フォーラム オンライン』」 (<https://www8.cao.go.jp/kourei/kou-kei/r03forum/tokyo2.html>)

A decorative graphic on the left side of the slide. It features a large orange circle in the center. Surrounding it are several other circles: a large blue circle at the top left, a smaller cyan circle below it, a small pink circle above the orange circle, a yellow circle with a dashed border and a white center overlapping the top right of the orange circle, a green circle overlapping the bottom left of the orange circle, and a small green ring at the bottom left. A dashed blue circle is also visible at the top left.

ご清聴ありがとうございました

# 政策提言② 民間との提携



# 民間との提携による各当事者のメリット

民間事業者



- 新たな顧客を獲得
- 財政的インセンティブ

通いの場



運営住民

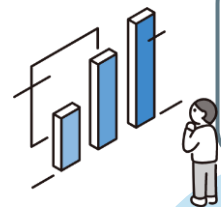


利用者

理想の通いの場の  
実現

多様性のある  
通いの場への参加

評価機関



介護予防への  
研究に活かす

民間取りまとめ  
組織

公共性の高い  
事業に参画

ファンド  
[資金提供者]

社会課題への  
貢献に寄与



自治体



- 介護予防への費用削減
- リスク分担